

コード	20203
作成年度	26年度

# 基本事業評価表

基本事業名称	U・Iターン者の受け入れ体制の整備
--------	-------------------

総合計画の位置付け	
政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり
施策名称	ゆとりある住宅・住環境の整備

課コード	108	関係課名
主管課名	まちづくり推進課	

## 基本事業の目的

都市部の住民の田舎暮らし志向が高まる中で、人口の減少を少しでも抑制し、様々な経験を有する人材をUIターンにより本町に呼び込むことで地域の活性化を促すことを目的とする。

## 基本事業の成果

成果指標名称 1	UIターン者数	成果指標名称 2	来島者数				
成果指標の積算根拠	目標受入数	成果指標の積算根拠	目標来島者数				
目標達成年度	平成26年度	目標達成年度	平成26年度				
目標達成数値	50組	目標達成数値	400人				
年 度		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
成果指標 1	目標 A	組	30	35	40	45	50
	実績 B	組	34	46	53	56	-
	達成率 B/A	%	113.0	131.0	132.0	124.0	
成果指標 2	目標 A	組	240	280	320	360	400
	実績 B	組	198	243	267	284	-
	達成率 B/A	%	82.0	87.0	83.0	79.0	

1次評価	現状	田舎暮らし体験ツアーや移住希望者の個別案内を実施している。また、町のホームページや、都市部でのイベントでチラシを配付してPRを実施している。
	課題	UIターンを考えている人は、定年過ぎの人は勿論であるが、近年は若い世代からの問い合わせも多い。しかしながら、一番の課題は定住するための仕事場がないことである。
	改善	定住促進事業を進めるためには、特に、就労支援策の制度化を検討する必要がある。また、空家情報の登録件数が少ないので、空き家改修事業補助制度も検討する必要がある。
2次評価		定住化を促進するためには、住まいの確保、働く場の確保、子育て環境づくりが最も重要であり、働き手、担い手である若者等をいかに町内に呼び込み、地域に賑わいが失われている状況を改善させるか有効な対策を講じていくため、関係課及び町内関係機関と目指すべき姿の共通認識を図り、効果的な方針を示し推進していくこと。
3次評価 住民等の意見		
町の対応		

※3次評価は、住民等の意見があった場合にのみ、再度公表するものとする。

## ◆基本事業を構成する評価対象事業◆

番号	評価コード	評価対象事業名称	担当課	平成25年度 直接事業費	評価の方向性
1	202030101	U・I ターン定住化支援事業	まちづくり推進課	356千円	(途中) このまま事業を継続
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
基本事業を構成する評価対象事業の合計事業費				356千円	